

第6回議会報告会 開催結果報告書

1 開催日時

平成25年5月30日（木）31日（金）午前10時～午後7時

2 場 所

各地区市民センター

3 参加者

(1) 議 員 9名（欠席 澤田議員（30日）猿田議員（31日））

(2) 市民等 78名（幾春別 7、弥生 9、唐松 20、美園 7、幌内 8、
三笠 8、山の手 10、岡山 8、報道機関 1）

4 議会活動報告等に対する質疑応答（主な事項）

(1) 議会活動について

- ・市民からの要望について、日々の議員活動が見えてこない。
市内の施設を日常的に見て回ると施設の管理や整備が行き届いていないことが目に付くはず。問題を掘り起こし積極的に自ら見て回る取り組みも必要ではないか。

・ 今回の意見は参考にさせてもらいたい。議員活動は個々に行っているが、皆さんが思うところに手が届かなく、各地域で提言されることもあるので今まで以上に活動していかなければならないと感じている。

- ・ 人口減少に伴い議員定数をどう考えているか。

・ 議員定数は単純に人口だけで比較できないが、過疎になるほど地域の声が届きにくい。10名の議員数では足りないという声もあり減ると厳しい状況だが、地域のバランスも考え市民の声が届くよう努力したい。

- ・ 各地区市民センターでの開催について、バスでの送迎など市民がより参加しやすくなるような工夫を要望する。

・ 今回はじめての試みで各地区センターを回っている。各地区に送迎は出来ないが、参加しやすい環境も考慮したい。

(2) 除排雪について

- ・ 除排雪の回数が少ない、歩道の除雪を含め地域事情も考慮して除排雪してほしい。

・ 除排雪について、地域事情があることを議会から行政に伝えたい。

- ・ 降雪量が 10cm で除雪するとのことだが、10cm 以上でも除雪していないためルールを守ってほしい。

また、除雪の時間帯が早すぎて朝まで積もってしまうので遅くできないのか。

- ・ 委託した業者の感度もあるが不均衡が生じないように行政から業者に指導するように努めたい。

- ・ 道道沿いの雪捨場について、雪が多いことから融雪が遅く見苦しいため景観等も考慮し場所の変更も考えるべきではないか。

- ・ 決定ではないが、行政側も雪捨場を移転することを考えている。議会としても問題の無いところを選択すべきと思っている。

(3) 雪害について

- ・ 雪害による倒壊建物の処理方法と所有者が見つからない場合の対策はどうなっているのか。

・ 倒壊建物とはいえ個人の財産であるため、市が積極的に解体はできないことから、所有者に処理するよう再三指導しているが、所有者が見つからない場合は、行政で倒壊建物が今以上に倒壊しないよう最低限度の補修を行っている。行政代執行という方法もあるが、解体費用は個人が支払うことになり、支払わない場合は市民の税金を使ってしまうことになるため、現実的には進まない。全国にもそのような物件が増えているため、国が一定の金額を出して処分してくれるよう、市長会からも要請はしている。議長会でも話しは出ているので現実化できればと思っている。

(4) 養豚場の悪臭について

- ・ 養豚場の臭気は無くなるのか、無くならないのか。今後の対応含めどう考えているのか。

- ・ 議会においても、養豚場の臭気については大きな問題として取り上げている。今年 2 月に三笠市と幾春別、弥生、唐松地区の連合町内会の会長とで空知総合振興局に要請を行い、北海道が養豚施設に立入検査を行ったところ、色々な不都合が生じたため、豚舎の清掃管理を徹底するよう指導したところである。頭数を減らし臭気の軽減に努めているが臭いは無くならないと聞いており、風向きや時間帯により臭いがすると言われている。行政側からは悪臭規制地域の基準レベルを引き上げることも検討したいと聞いているが、今後の業者の対応を含め、まちづくり調査特別委員会でも取り上げるなど、議会としても対応していきたいと考えている。

(5) 市立病院に関することについて

- ・ 今後の医療のあり方、病院のあり方の考え方について

- ・ 人口減少に伴う患者数の減少、老朽化、医師確保、看護師の確保等の体制上に無理がかかり病院経営にも大きく影響している。一昨年 3 月に療養病棟を開設し利用も安定しているが、経営が好転するまでには至っていないのが現状である。医療のあり方については、近隣市との連携を含め広域的な医療体制も視野に入れ対応したいと考えている。

- ・ 病院の土足化について

- ・ 病院の土足化については、衛生的な面と土足化することによる滑らないための床の張替えが発生し、経費もかさむため現段階での土足化は考えていない。